

**ご意見・ご質問コーナーに寄せられたご意見ご質問  
(期間：平成24年4月26日～平成24年5月16日)**

## 東電再建案反対

○年 齢 : 31歳～35歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名: 神奈川県

○ご意見の内容:

柏崎刈羽原発は事故・災害時にとりかえしが見つからないので、再稼働反対。

東電の再建に税金を使うな。

## 電気の需給バランス

○年 齢 : 66歳～70歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名: 京都府

○ご質問の内容:

全国ベースで電力会社の需給を%表示でしている。  
この表示では、一体幾らの過不足が生じるか不明である。  
はっきり、電力会社毎の万 kW と表示すべきだ。

関西電力の2月の最大発電量は、2,600万 kW 強であったと記憶している。  
冬の発電量であれば、15%の不足は有り得ないと思う。

この夏の発電量は幾らと、推定しているか？

## 原発の早期 再稼働を

○年 齢 : 41歳～45歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名: 長野県

○ご意見の内容:

日本の原発がすべて停止したが それによってこれから起こる事態を非常に危惧する。計画停電や無理な節電により何人が熱中症等により死ぬのか。電力不足 電気代値上げによりどのぐらい日本の経済に悪影響を及ぼすのか。戦後 最大の貿易赤字を垂れ流す現在、日本のものづくりをはじめとした産業の危機だ。利益減少 赤字拡大 リストラ 倒産となれば経済的理由で自殺や犯罪などで多くの死者が出る。将来の事故が起きるかもしれない リスクより現実の目の前の危機の方がはるかにリスクがでかい。一日も早く原子力発電が再稼働出来るように努力して下さい。

## 原子力安全委員会の会議とは、何ですか？

○年 齢 : 41歳～45歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名: 愛知県

○ご質問の内容:

新聞に、原子力安全委員会で地域との共生について議題が上がろうとすると、世の中に、地域とはどこか議論が巻き起こるから、議題から削除したとあります。

原子力について、不都合なことを議論しないでいいのなら、委員会として価値がないので、いっそ放置してもいいのではないですか？  
委員会の構成メンバーになんらかの金銭が国費から出ているのなら、その国費は、無駄ということになりませんか？

原子力安全委員会という名称は、あなたたちには、ふさわしくない。

想定を超えるということは、想定した人間に知識と想像力が欠けているからであって、自身の無能の証明である。理解して下さい。

## 新大綱策定会議について

○年 齢 : 51歳～55歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社役員

○都道府県名 : 東京都

○ご質問の内容:

新大綱策定会議の議案「(原子力と)地域社会との共生」が隠蔽されたとの報道がありました。が事実でしょうか。

事実であれば、原発推進に有利になるよう恣意的に行ったものと考えざるを得ません。近藤委員長の責任のみならず、新大綱策定会議の姿勢も問われる大問題です。(削除)氏、(削除)氏とともに即時解任されるべきものです。

また、もし事実でないとするなら、その旨を広報するとともにマスコミに抗議すべきものです。少なくとも公式の意思表示がないのでしたら報道を追認したと考えざるを得ません。

近藤駿介氏、(削除)氏、(削除)氏の責任および進退についてご回答願います。

※〈個人情報の保護その他について〉の考え方に基づき  
一部を伏せさせていただきました。

## 無駄な電力消費を強制しているJIS規格の改定

○年 齢 : 51歳～55歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名: 埼玉県

○ご意見の内容:

5月14日夜7時過ぎ TOKYO FM で放送された番組“Time Line”によると、日本の産業用電力消費(全消費電力の6割)の3割を占めるオフィスの照明(1000lx程度)は、欧米諸国のオフィス照明(150～300lx程度)の3倍を超える明るさとのこと。日本のオフィス照明の明るさは、JIS規格で定められているそうですから、JIS規格を欧米並みに改め、業務に必要な証明は卓上スタンドで賄うよう産業界を指導すれば、原子力発電所停止による電力不足の懸念は解消すると思います。

**原子力発電再稼働を中止のお願い。**

○年 齢 : 46歳～50歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 自営業

○都道府県名: 広島県

○ご意見の内容:

私の身内は第二次世界大戦の末期広島へ投下された原子爆弾の被害を収束させるために広島市内に応援に行って残留放射性物質による入市被爆をしました。

その後の生き様を知っている私にとって微量であろうがトリチウムなどの原子力発電由来の放射性物質が自然界に放出されることは許されるものではありません。

昨年の東北震災での甚大な放射性物質の放出も許されるものではありませんし、運転によってさらに増え続ける放射性廃棄物の問題を抱えている原子力発電所の運転はゆるされません。

私個人としてもソーラーパネルを導入して日中の電力を補う努力をしています。

場合に寄っては風力など自然エネルギーのや蓄電池の導入などに切り替えなければならないと思っています。

そこをお願いですが、非原子力発電由来の電力を選べるようにお願いします。

これは人類最初の原子爆弾による放射性物質による被害の経験を継承してきた者からの警鐘であり、原子力発電由来の電力に対する抗議行動の一つです。